

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなで作る未来型図書館 ニュースレター vol.1



現在、多くの注目を集めている「未来型図書館」。
小松市では、未来型図書館のあり方について調査研究を進めています。
市民のみなさんと共に進めている図書館づくりの様子をお届けします！



協議会の様子（7月）

図書館協議会

図書館の運営を考える組織として、社会教育委員や図書館を支える方々で構成する「図書館協議会」。第1回の会合では、これからの進め方についての助言などをいただきました。今年度内に第2回を開催し、調査研究報告としてとりまとめる予定です。

講演会

9月5日（日）に株式会社マナビノタネ代表取締役の森田秀之様をお迎えし、1回目となる未来型図書館を考える講演会をオンラインで開催しました！市内・県内外から合わせて158名のみなさんに参加いただきました。

これまで携わってこられた都城市立図書館や武蔵野プレイスなどにおける取組みをご紹介いただいたほか、「『いきいきと生きるために』なくてはならない場を実現するとすれば図書館が一番近い存在ではないか、そうしていくことが大事」とお話しいただき、図書館が一人ひとりの人生を豊かにしていく場であることを学ぶ機会となりました。

参加者からは「図書館の持つ役割の視野が広がった！」
「単に本を借りる場、勉強する場としての図書館ではなく複合的な役割について理解を深める機会になった！」
との声をいただきました。

▶10月31日までHPで講演会の様子をご覧いただけます



森田 秀之 様

意見交換会

市民のみなさんとの意見交換会がスタート！

9月24日（金）に北國とおり町にぎわい協議会のみなさんと、第1回目の意見交換会を開催しました。「明るい、楽しいイメージの図書館に！」「まちづくりの核となるような図書館に」「誰でも利用しやすい図書館に」など、未来型図書館に対する想いをお一人おひとりが語っていただきました。



今後もさまざまな団体のみなさんと意見交換会を開催していく予定です。

お申込みなどは
市HPをご確認ください！



みんなで作る未来型図書館 リレーエッセイ

第1回目は宮橋市長です！

みなさん、こんにちは。小松市長の宮橋勝栄です。
「新しい小松をつくる55の具体策」を掲げ市長に就任し、半年が経ちます。新たな活気とにぎわいを創出し「生涯暮らし続けられるまち」を目指し、「わくわくする未来型図書館の建設」を重点対策に掲げています。
新しい図書館づくりは、「市民と共に進める、次世代都市」づくりを体現するモデルとして位置付けており、「対話とコミュニケーション」を大切に進めていきたいと考えています。

「未来型」と聞くと皆さんは何をイメージしますか？
未来型図書館の議論は始まったばかり。未来型図書館の定義も、みなさんとの対話を通して創り上げていきたいと思っています。

現在は、意見交換会がスタートし、市民アンケートも実施中です。みなさんのたくさんのアイデアが『わくわくする図書館づくり』につながります。

みなさんの想いを是非お聞かせください！



宮橋勝栄小松市長

お知らせ

【市民アンケートについて】

現在、市民アンケートを実施中です！（回答期間は10月31日（日）まで）
右の図書館HPから回答できます！→

【講演会について】

12月に第2回目の講演会を開催予定です！お楽しみに！



みんなで作る、みんなで作る未来型図書館へ